

## 下水道施設の適切な使用のお願い

下水道施設に異物が流入して発生する故障が多発しています。

香芝市内の下水道は、地理的制約から、道路内のマンホールにポンプを設置して圧送する「マンホールポンプ」を市内に18箇所設置しています。

このマンホールポンプに異物が流入してポンプが停止する事態が最近多発しています。

下の写真は、ポンプの回転羽根に水に溶けにくい紙や下着、タオルなどが絡まってポンプが停止し、現地で緊急に分解整備を行った時の写真です。



異物が流入してポンプに吸い込まれるとポンプ内で絡まり羽根が回らなくなり、ポンプを破損する場合があります。ポンプが故障すれば、マンホールから汚水が溢れだすとともに、接続している皆さまの排水設備（トイレ・排水口等）から汚水が逆流することもあります。

また、マンホールポンプでない自然流下の地区であっても、最終的には下水処理場の主ポンプが汚水をくみ上げて処理が行われます。

マンホールポンプ場や下水処理場の故障を引き起こさないためにも、次のようなものは下水道に流さないでください。

流してはいけないもの	解説
<p><b>水に溶けない紙類</b></p>	<p>原則として<b>トイレトーパー以外の紙類は流さない</b>でください。            生理用品、紙おむつ、ティッシュペーパー、ペーパータオル、ウェットティッシュ、は絶対に流さないでください。            「トイレに流せる」トイレシートや、「トイレに流せる」おしり拭きも一度に多量に流すと詰まりやポンプ故障の原因となりますので、可燃ごみとして捨ててください。</p>
<p><b>布類</b></p>	<p>ポンプの回転羽根に絡みつくので<b>布類は流さない</b>でください。            モップや雑巾、タオル、ハンカチ、下着等の衣類が絡まっていたことがあります。            トイレに落とした場合は必ず拾い上げ、そのまま流すことのないようお願いします。</p>
<p><b>残飯</b></p>	<p>できる限り、三角コーナー等のごみ箱に捨てるか、汚れを拭いたり、かき取ったりして、<b>固形物のごみを流さない</b>ようにしてください。            固形の残飯などは、水をきれいにする微生物が栄養として取り込みにくく、水処理に支障をきたします。フライパンや食器を洗う際にはスクレーパーを使うなどして、汚れをかき取ると、水や洗剤の節約になります。</p>
<p><b>油類</b></p>	<p>下水道の処理に影響を及ぼすので、<b>てんぷら油やエンジンオイルなどの残油・廃油類は流さない</b>でください。            大量の油は下水処理場の水をきれいにする微生物を殺してしまうとともに、固まってポンプや配管を詰まらせる原因にもなります。            油は固化剤で固めるか、紙やボロ布でふき取ったり、しみこませたりして、可燃ごみとして出してください。            また、揮発油が流入すると下水管内部で可燃ガスが充満し、何らかの理由で発火・爆発する危険性があります。</p>